

2025 年度大学院研究科博士前期課程・修士課程入学試験問題

NO. 1

日 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
B 日程	経済学研究科	一 般 外国人留学生	小論文 (経済に関する時事問題)

以下の＜設問 A＞および＜設問 B＞の両方に解答せよ。ただし、＜設問 A＞および＜設問 B＞の解答は、それぞれ、専用の解答用紙に記入すること。

＜設問 A＞ 日本銀行副総裁の氷見野良三氏は、2024 年 01 月 30 日、2024 年度第 3 回一橋大学政策フォーラムにおいて、講演「金利のある世界」を行った。以下の資料は、日本銀行が公表した、講演録の一部を抜粋したものである。資料を読み、問 1 から問 4 に解答せよ。(設問作成の都合上、資料の原典における一部を省略している)

資料については、
著作権の関係から掲載いたしません。

図については、
著作権の関係から掲載いたしません。

(問1) 下線部(1)「経済への影響が大きいのは名目政策金利から予想インフレ率を差し引いた実質政策金利の水準」とは具体的にどのようなことかを説明せよ。

(問2) 下線部(2)「このように企業行動などに定着していた硬直性が解きほぐされること」とは具体的にどのようなことかを説明せよ。

(問3) 下線部(3)「それが本来あるべき経済環境だから」とは具体的にどのようなことかを説明せよ。また、このアンケート回答について、あなたの考えを述べよ。

(問4) 下線部(4)「名目金利のある世界」には入りつつありますが、「実質金利のある世界」には距離があります(図表5)」とは具体的にどのようなことかを説明せよ。また、この発言について、あなたの考えを述べよ

＜設問B＞ 以下の資料は、内閣府政策統括官(経済財政分析担当)による『2023年度 日本経済レポート』(2024年2月)における第1章第1節の一部を抜粋したものである。資料を読み、問1と問2に解答せよ。(設問作成の都合上、資料の原典における一部を省略している)

資料については、
著作権の関係から掲載いたしません。

図については、
著作権の関係から掲載いたしません。

(問1) 下線部(1)に述べられた状況は、なぜ生じたのか。あなたの考えを具体的に述べよ。

(問2) 下線部(2)に示された考え方(あるいは解釈)についての、あなたの見解を具体的に述べよ。ただし、解答に当たっては、まず、下線部(2)の考え方に賛成か反対かを述べ、次に、自分の見解を述べよ。